

一般社団法人電動車両用電力供給システム協議会(EVPOSSA)

平成29年度事業計画書

平成29年4月1日～平成30年3月31日

1. まえがき

平成28年3月に策定された国の「EV・PHV ロードマップ検討会報告書」では、新車販売に占めるEV・PHVの割合を2030年までに20～30%に引き上げ、2020年までにEV・PHV車の累計販売台数を最大で100万台を目指すとし、2020年までの充電インフラの設置目標は、EVPOSSAが普及推進している普通充電器に関する目的地充電2万基(既設含む)、基礎充電(共同住宅)年間2,000基、基礎充電(職場)9,000基の設置を目標としている。

また、EV・PHVの蓄電池を再エネ電力の出力変動の調整に活用などVPP(Virtual Power Plant)の実証等の取組、EV・PHVが普及拡大すれば、災害対策の電力インフラとして、社会的な価値を生み出すことが期待されており、今後V2X機能の活用も検討されてくる。

一方、充電インフラの整備についてこれまでに平成24年度補正1,005億円、平成26年度補正300億円、平成28年度25億円の補助金で整備され、平成29年度は18億円の補助金で整備される予定である。補助金額も減額傾向であり、EVPOSSAとして補助金に頼らない充電インフラ普及を前提に既存需要(共同住宅・職場等への設置)の掘り起こし、新たな需要・価値創出が急務な状況である。

このような状況下において、EVPOSSAとしては普通充電器の普及促進活動と電動車両用電力供給システムにかかわる協議を進め、関係省庁及び関係団体のご指導とご支援を頂き、会員の皆様とともに安全・安心な普通充電器の普及促進とあわせて電動車両用電力供給システムにかかる新しい技術課題にも引き続き積極的に取り組んでいく。

2. EVPOSSAの活動

2.1 EVPOSSAビジョン

EVPOSSAの活動の更なる充実に向けて、電動車両用電力供給システムにかかる視点から下記に掲げるビジョンを基本方針として具体的成果の得られる活動を行う。

- (1) 移動したくなる社会づくり
- (2) コミュニケーションの活性化
- (3) 人にやさしい充電インフラの提供
- (4) 自然・災害に強い仕組みづくり

2.2 委員会・部会の活動計画

2.2.1 企画運営委員会

活動内容

- (1) 充電インフラの新たな価値・市場創出検討
- (2) V2H(充電器・充放電器-ECHONET-Lite搭載)の新たな市場創出及びビジネスモデルの提案
- (3) 各種電動車両の特徴にあった充電器、充電サービスのあるべき姿のユーザー目線での提言

2.2.2 技術課題検討部会

活動内容

- (1) 第三者認証制度の課題解決と会員の認証取得推進
- (2) AC 普通充電器普及に向けた活動の推進
- (3) 会員のための情報発信の充実

2.2.3 普及促進部会

活動内容

- (1) 充電インフラ市場の拡大
- (2) ユーザーの利便性向上
- (3) 関係団体との連携
- (4) EVPOSSA の価値向上